



第17回 JAあきた白神女性部総会

→ 活力ある組織運営を図って
いきます



JAあきた白神女性部総会が4月8日、藤里町のホテルゆとりあ藤里で開催され、平成27年度事業報告並びに収支決算や平成28年度事業計画などについて協議し、全3議案を原案通り承認しました。

総会には、管内3支部の役員など33人が参加。はじめに佐々木博子女性部長が「私たちを取りまく社会・農業情勢は急激な変化を遂げています。今年度は、日頃の活動はもちろんのこと、もう一步踏み出した

活動が必要になる。様々な活動への参加・参画の意義を考え、部員の減少に歯止めをかけたきたい。また、くらしの活動や支店を拠点とした協同活動を通して、地域の方々との交流を図り、JAと寄り添い部員全員で足並みをそろえて活動に取り組んでいきましょう」とあいさつしました。

その後、協議が進められ平成28年度事業計画では、①食と農を守る活動の実践、②組織の活性化と部員の加入促進、③JA運営への女性参画促進強化、④くらしと環境を守る運動の実践、⑤助け合い活動への参加などの5項目に取り組んでいくことを誓い合いました。

総会後には、劇団わらび座わたなべのぶこ氏を講師に「ほんとうの春を迎えるために、私にできること…いつも心はハルらんらん」と題した講演では、元気で生き生きと暮らしていくために必要な「笑い」をテーマに「歌笑指導」が行われました。参加者全員で歌い、そして笑い、楽しい時間を過ごしました。

絵手紙講習会

趣味の充実と地域住民との交流などを目的に始まった絵手紙講習会も、今年で4年目を迎えます。この活動も年々地域の方々に広まってきており、参加者の人数も増えてきています。

第1回目の講習会は4月13日に二ツ井生活総合センターで開催され、9人の地域住民が参加

→ アドバイスし合う女性部員



← 会話ははずみ充実した講習会でした

しました。女性部員の桐越民子さんと田中若子さんを講師に招き、絵手紙づくりの合言葉『へたでいい、へたがいい』のもと、存分に筆をふるって自慢の絵手紙を完成させていきました。参加者からは「自分だけの絵手紙を作ることができてとても楽しいです。また、休憩の時間も参加した皆さんと会話ができて、交流を深めるためのいい活動だと思います」といった感想が聞かれました。